

グローバル人材育成推進事業 審査結果表

大 学 名	東京海洋大学
申 請 区 分	タイプB
〔評価コメント〕	
<p>まず、海洋国家という我が国の地政学的特性、そしてその中における大学の立ち位置をしっかりと踏まえた上でのグローバル人材像は明確でかつ説得力がある。その上で、TOEIC 600 点を 4 年次進級条件とする試みはかなり大胆な目標設定であり、カリキュラム改革に向けた「やる気」と「覚悟」を感じさせる。学部教育における海外派遣型キャリア演習の新設も留学前と留学後のケアをしっかりと考えていけば、学生にとって貴重な学習体験になり、アジア地域を見据えたグローバル人材の育成に貢献すると思われる。また、大学院修士課程における全ての講義の段階的英語化も大学の強い決意の表れでもあり、大胆かつ挑戦的である。実現の際には海外特にアジアからの留学生の増加、それに伴う大学院のグローバル化が一気に加速する可能性を感じさせる。</p> <p>しかしながら、大学院修士課程の授業の 80%を英語化する（段階的にせよ）場合、現在雇用されている教員でそれが本当に実現可能なのかが懸念される。また、英語化によって修士課程における教育内容の質の担保がなされるような具体的な取り組みについても検討する必要がある。講義の英語化と学問内容の質の維持についてはどの大学の取り組みにおいても懸念される事項であるので、他大学の参考になるようなモデル的取り組みを行うことが望まれる。</p> <p>最後に、今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、20 年、30 年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にする国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	